

盛岡市議会 会派「市政クラブ」

平成 29 年度予算要望への回答

目次

(部 等 名)	(頁)
市 長 公 室	1
総 務 部	5
財 政 部	10
市 民 部	15
環 境 部	19
保 健 福 祉 部	21
商 工 観 光 部	26
農 林 部	31
中央卸売市場	33
建 設 部	34
都 市 整 備 部	40
上 下 水 道 局	44
市 立 病 院	47
教 育 委 員 会	48
玉山総合事務所	54

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【市長公室関係】 P 1 ・ 連携中枢拠点都市として広域市町と連携し、産業振興や医療福祉・防災・環境・交通・教育・人事交流の連携を促進されたい。特に、施設の機能分担や県との二重行政の解消を促進されたい。 P 1 ・ 自治体運営は財政面や上位官庁の視点による誘導策から決定するのではなく、盛岡市の政策立案力や企画調整力を発揮することで執行されたい。そのための体制を構築していただきたい。 P 1 ・ 指定管理者制度や委託の検証をされたい。具体的には、収支報告・活動報告について混乱を引き起こさないよう、年度初めから適切な指導をされたい。各担当課によって指導や書類記載の内容が著しく異なることの無いよう、基礎的部分においては、盛岡市共通のひな形があることが望ましい。また指定管理制度や委託において、従業員の労働条件が劣悪なものにならないよう指導されたい。	平成28年3月に策定した「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」に示した「盛岡広域圏の中長期的な将来像」を達成するためには、広域圏全体と構成各市町の特長を生かしながら、経済成長や都市機能の強化、生活関連サービスの向上といったメリットの相互共有を図る必要があると存じておりますことから、各分野にわたる計画事業の着実な実施に向けて、関係市町との連携をより一層深めてまいります。 また、県と市の二重行政の解消につきましては、他都市での取組状況等を参考にしながら、引き続き、研究してまいります。 （市長公室企画調整課都市戦略室） ※ 人事交流については、総務部で回答 地方分権の進展等に伴い、自治体における自律的な経営が求められておりますことから、これまでも、職員の政策形成能力や職務遂行能力の向上など人材育成を推進するとともに、人を活かす人事システムを活用しながら、組織目標の着実な達成を可能とする組織力の向上を中心とした組織マネジメントの推進に努めてきたところです。 今後におきましても、職員の能力開発に努め、中核市として、施策を積極的に推進することのできる体制の構築に努めてまいります。 （市長公室企画調整課・総務部職員課） ※ 財政部及び総務部で回答

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 1 冬季五輪誘致のための調査費の計上をされたい。また、国体以降の活性化として世界アルペン大会や冬季アジア大会、NHKフィギア大会など冬季スポーツ大会誘致を促進されたい。	※ 市民部で回答
P 1 国際会議場の設置および国際会議の実績を積んで頂きたい。I L C誘致の効果が仙台市に流れないようにされたい。	※ 前段は、商工観光部で回答 平成28年12月開催のリニアコライダーに関する国際会議「LCWS2016」における、会議開催支援や魅力発信事業で培ったスキルや事業実施の成果を生かすことにより、今後の国際会議の更なる誘致にもつながるよう、情報発信等に努めてまいりたいと存じます。 また、国際リニアコライダー誘致による波及効果を高めるためにも、国際都市の実現を見据えた「まちづくりの方向性」を引き続き、検討してまいりたいと存じます。 (国際リニアコライダー推進事務局)
P 1 人口減少社会にあった施設整備を図る進行管理施策の徹底を図られたい。 30カ年での都市構想や、単年度決算では見えない中期的な決算の視点で市の施策を計画して頂きたい。	※ 前段は、財政部で回答 また、総合計画の基本構想の策定に当たり、平成52年までの長期にわたる人口推計を行うとともに、社会の潮流や普遍的な本市の特徴や魅力を踏まえ、10年以上先を見通すなど、長期的視点に立ちながら策定しておりますので、各部門別において策定する個別計画や施策の立案に際しても、総合計画の方向性を踏まえ、長期的な視点を見据えて取り組んでまいります。 (市長公室企画調整課)
P 1 盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略については、その効果を熟慮した上で事業選択を行って欲しい。効果を考える際に、「定説」を頭から信じるのではなく、出来る限り「盛岡市の事実」に接近する様なデータを根拠として頂きた	総合戦略については、人口減少対策や地方創生の取組を進めるため、産業界、大学、金融機関等の有識者から意見や提言をいただきながら策定したものであり、事業を進めるに当たっては、取組の実効性を確保する観点から、目標を設定し効果を検証の上、改善を図るP D C A（計画－実施－評価－改善）サイクルにより、進行管理を行うこととしております。

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
い。 【総務部関係】 P 2 ・ 庁舎内における市の情報提供体制の強化をされたい。	また、効果を検証する上では、本市の人口の現状や経済動向、雇用情勢などについて、既存の統計や地域経済分析システムの情報などをもとに調査・分析を行ってまいります。 (市長公室企画調整課) 庁舎内における情報提供体制といたしましては、現在、本庁舎1階に来庁者のための窓口案内所を設置し、専任の窓口案内人（非常勤）2人と広聴係3人の職員体制により、次の業務を行っております。（平成26年度案内実績 48,116人） ①来庁者への庁舎案内 ②各種手続き等に関する案内 ③軽易な苦情，相談の受付 ④各種案内，募集要項等の配布 窓口案内所には，市民から幅広い分野の要望や問い合わせがありますことから，多様なニーズに迅速かつ的確に対応できるよう，担当職員への市政に関する研修と接遇マナーの徹底に努めてまいります。 また，来庁者へ常時最新の情報をお伝えできるよう，市で作成したパンフレットやチラシを用意するなど市政情報の収集に努めてまいります。 (市長公室広聴広報課)
【商工観光部関係】 P 7 ・ 石川啄木を通じた、函館市・文京区との連携や友好関係の締結を促進されたい。	本市は，函館市とは「啄木かるた大会」を相互に開催しておりますし，東京都文京区とは平成24年7月に「石川啄木ゆかりの地」地域文化交流に関する協定を締結するなど，両都市とは，「啄木」を縁とした交流を進めております。 平成28年3月には，新幹線が東京から函館までつながり，本市，文京区，函館市がより

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
	身近な都市となりましたことから、今後、さらに観光や文化の面で交流が広がるよう、対応してまいりたいと存じております。 (市長公室企画調整課・教育委員会事務局歴史文化課)

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【市長公室関係】 P 1 ・ 連携中枢拠点都市として広域市町との連携し、産業振興や医療福祉・防災・環境・交通・教育・<u>人事交流</u>の連携を促進されたい。特に、施設の機能分担や県との二重行政の解消を促進されたい。 P 1 ・ 自治体運営は財政面や上位官庁の視点による誘導策から決定するのではなく、盛岡市の政策立案力や企画調整力を発揮することで執行されたい。そのための体制を構築していただきたい。 P 1 ・ 指定管理者制度や委託の検証をされたい。具体的には、収支報告・活動報告について混乱を引き起こさないよう、年度初めから適切な指導をされたい。各担当課によって指導や書類記載の内容が著しく異なることの無いよう、基礎的部分においては、盛岡市共通のひな形があることが望ましい。また指定管理制度や委託において、従業員の労働条件が劣悪なものにならないよう指導されたい。	〔<u>人事交流</u>部分のみ〕 職員の人事交流につきましては、広域首長懇談会において共有可能な研修について相互に参加を呼び掛け、実施しております。今後におきましても、職員間の相互理解と能力・資質向上のため継続実施していくとともに、人材育成を含めた定期的な情報交換を実施してまいります。 (総務部職員課) ※ 市長公室から回答 指定管理者制度や業務委託においては、あらかじめ定めた仕様や協定・契約に基づき公共サービスが適切に提供されているかについて、定期的に履行内容を確認しております。また、指定管理者制度においては、このような確認に加え、公正かつ客観的視点から第三者による評価を実施するとともに、平成25年度から統一的な視点による業務の履行状況確認（モニタリング）を採り入れることにより、市民及び利用者に対するサービスの向上に努めております。 指定管理者制度における各種報告については、市と指定管理者とで締結する基本協定書に基づき、業務の実施状況、利用状況、経理の状況等を記載した事業報告書等の提出をお願いしております。また、例年、指定管理者と所管課を対象とした連絡会議を開催し、指定管理者制度等について意見交換する場を設けております。 業務委託については、個別の委託業務の性質、内容等が多岐にわたっていることから、市としての統一した報告様式は定めておりませんが、仕様書及び業務委託契約書に基づき受託者から成果品や報告書等を提出いただいているところです。 施設で働く職員の労働条件については、指定管理者の選定の審査項目に「適正な労働状況の確保」を設けており、定期的に賃金や労働時間等の労働条件について調査を行うなど、

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【総務部関係】 P 2 - 東日本大震災被災者、台風10号被災者に対して、それぞれのフェーズに合わせた支援を継続されたい。 P 2 - 職員を市外県外国外へ研修で派遣されたい。また、職員コンプライアンス教育の徹底をされたい。	その把握に努めています。 (総務部職員課・財政部資産管理活用事務局) 東日本大震災で被災された方々に対しましては、「東日本大震災に係る盛岡市復興推進の取組方針」に基づいて、個々の事情に応じた支援の実施に取り組んできたところであります。 また、平成28年台風第10号で被災した市町村に対しましては、災害発生直後から各市町への職員派遣、物資支援、給水支援、ボランティア支援などを行い、被害に遭われた地域が一日も早く復旧・復興し、その地にお住まいの方々が元の生活を取り戻し、安心して暮らすことができるよう、できる限りの支援を行ってきたところであります。 東日本大震災や台風第10号で被災された方々に対しましては、引き続き、支援ニーズの把握に努めながら、必要な支援を行ってまいります。 (総務部危機管理防災課) 職員の派遣研修につきましては、毎年、市町村アカデミー等、県外の研修機関へ派遣するなど、職員の能力開発に努めているほか、職員の見聞を広げることを目的とし、各部署における先進地視察や岩手県市町村振興協会主催の行政調査研修、他団体の職員との交流を伴う研修などにも積極的に派遣しているところです。今後におきましても、派遣研修等を通じた人材育成を図ってまいります。 また、職員に対するコンプライアンス教育につきましては、これまでの不祥事案を教訓に、全庁を挙げて取り組んできたところですが、不祥事案の発生を受け、これまでの取組の検証と更なる取組の検討を行ったところであり、自らの問題として捉えられるような手法の導入や、職務に対する誇り、使命感、やりがいなど、ポジティブな視点でのコンプライアンスの意識付け、また、非違行為により本人自身が失うものや周囲に与える重大な影響について改めて認識させるよう研修内容を見直すこととしたところです。引き続き、コンプライアンスに対する職員の意識改革に取り組んでまいります。 (総務部職員課)

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 2 職員OBを緊急時予備役として招集できる体制を取って頂きたい。	職員OBを緊急時予備役として招集できる体制につきましては、豊富な行政経験を有した人材の活用という観点から、災害時、緊急時の体制整備のための方策のひとつと考えられますことから、自然災害を含めた今後の市の危機管理体制の整備を図る中で、研究してまいります。 (総務部危機管理防災課・職員課)
P 2 地域防災計画の市民への浸透を図るとともに自主防災隊組織の結成以降の組織体制の把握をされたい。また、河川氾濫の危惧される地域で要支援者の把握を行い、緊急時対策を準備するとともに、災害時の市民への情報提供のあり方について検証されたい。	地域防災計画につきましては、自主防災組織の結成促進と組織の育成強化にあわせて周知に努めているところであり、今後とも、出前講座等の機会を活用しながら、市民への浸透を図ってまいります。 また、自主防災組織の結成以降の体制については、各組織において、避難誘導訓練や消火訓練、応急救護訓練、炊き出し訓練などの実践的な訓練に取り組んでいただいております。また、災害発生時には、地域における自主的な防災・減災活動を統制するなど、その組織力を生かした活動をもって、地域の安全・安心の確立に御尽力いただいているものと存じております。市といたしましては、自主防災推進員による指導、助言を積極的に行うとともに、消防署や消防団と連携ながら、こうした自主防災組織の自主的な活動がさらに活発に行われるよう、引き続き、支援してまいります。 避難行動要支援者については、河川氾濫の危惧される地域を含め、「盛岡市避難行動要支援者避難支援計画」に基づき、「避難行動要支援者名簿」を作成しております。名簿登載者のうち情報提供に同意をいただいた方を登載している「避難行動要支援者情報提供同意者名簿」を消防機関、民生委員のほか協定を締結した町内会等に提供することで災害時に支援を必要とする方の安否確認及び避難支援を進めることとしております。 災害時の市民への情報提供につきましては、災害が発生する恐れがある場合は、早めの避難準備情報を発表し、市のホームページや玉山地域における防災行政無線での広報、各報道機関へのリリース、町内会・自治会への連絡などにより周知を図っており、市民の皆さまが迅速かつ安全に避難していただけるよう、その対策に万全を期しておりますが、引き続き、効果的な情報提供の方法や仕組みについて研究してまいります。 (総務部危機管理防災課・消防対策室・保健福祉部地域福祉課)

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 2 ・ 庁舎内における市の情報提供体制の強化をされたい。	※ 市長公室で回答
P 2 ・ 非常勤の障がい者の複数年度採用の方法を検討されたい。また障がい者法定雇用を維持するようにされたい。	非常勤職員については、業務の必要性に応じ、1年を超えない範囲で期間を定め任用しており、必要に応じ、再度の任用を行うなど柔軟に対応しているところです。複数年雇用については、雇用不安を解消する方策の一つと考えられますが、当初から複数年で雇用することについては、雇用のミスマッチ等も懸念されることから、業務継続の必要性や任用に対する希望等を十分に確認した上で、任用の更新等を行ってまいりたいと存じます。 また、障がい者の法定雇用率につきましては、身体障がい者を対象とした特別枠の職員採用試験や「障がい者の非常勤職員名簿登録制度」を活用した非常勤職員の採用により、必要人員は充足しているところですが、市を始めとした公的機関は、障がい者の方々の雇用の促進について民間事業主に対し率先垂範すべき立場にありますことから、引き続き、障がい者の雇用の場の確保に努めてまいります。 （総務部職員課）
P 2 ・ 市役所の建て替えについて市民アンケートを実施して頂きたい（場所や合併協定を含め）。	将来の市庁舎建設の財源確保のため、平成23年度に「市庁舎整備基金」を創設し、毎年度2億円ずつ積み立てているところですが、自主財源として、50億円程度は必要と見込んでおり、基金の積み立てが現状で推移する場合には、平成47年度にこの額に達することになるほか、現庁舎の老朽化の面から考えましても、平成47年度は、本館の耐震改修工事が完了して22年目に当たりますことから、その辺りが新庁舎建設の目途になるものと考えております。 庁舎建設は、行政運営上極めて重要な課題であり、市民の意見を広く聴きながら、将来の街づくりや市民の利便性などを踏まえて計画を策定する必要があると考えており、今後、公共施設保有最適化・長寿命化計画に位置付けながら、建設規模や整備手法、資金計画の検討など、事業計画を策定していく段階において、市民アンケートについても検討してまいります。 （総務部管財課）

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 2 ・ 条例を制定するだけでなく、条例の廃止や時代にあった条項の変更も行われたい。	条例の廃止や条項の変更につきましては、法令として一定の規律性を保ちながら、関係法令の改正や施策の方向を考慮し、検討を加え、必要な改正や廃止を行っております。今後とも必要に応じて所要の措置を講じてまいります。 （総務部総務課）
P 2 ・ 未利用市有財産の処分や活用を促進されたい。	盛岡市総合計画の実施計画において、平成27年度から31年度までの5ヵ年の活用目標額を18億7千万円と定め、未利用市有地の処分・貸付等の有効活用に取り組んでおります。今後も未利用市有財産の効率的な利用を促進するとともに、新たな利活用の方法について研究してまいります。 （総務部管財課）
P 2 ・ 自治体クラウドにおける行程や方針を早期に示されたい。	自治体クラウドの導入については、情報システムの運用コストの圧縮の観点から有効であるとして、国において全国の自治体クラウドの先進事例等を分析し、その成果を活用して取組を加速することとしております。自治体クラウドによるシステムの広域化・共同化については、自治体間で異なるシステム・費用の調整等の詳細な検討が必要でありますことから、現有システムの更新時期等を考慮しつつ、国の動向等を踏まえて検討を進めてまいります。 （総務部情報企画室）

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【市長公室関係】 P 1 - 指定管理者制度や委託の検証をされたい。具体的には、収支報告・活動報告について混乱を引き起こさないよう、年度初めから適切な指導をされたい。各担当課によって指導や書類記載の内容が著しく異なることの無いよう、基礎的部分においては、盛岡市共通のひな形があることが望ましい。また指定管理制度や委託において、従業員の労働条件が劣悪なものにならないよう指導されたい。 P 1 - 人口減少社会にあった施設整備を図る進行管理施策の徹底を図られたい。 30カ年での都市構想や、単年度決算では見えない中期的な決算の視点で市の施策を計画して頂きたい。	指定管理者制度や業務委託においては、あらかじめ定めた仕様や協定・契約に基づき公共サービスが適切に提供されているかについて、定期的に履行内容を確認しております。また、指定管理者制度においては、このような確認に加え、公正かつ客観的視点から第三者による評価を実施するとともに、平成25年度から統一的な視点による業務の履行状況確認（モニタリング）を採り入れることにより、市民及び利用者に対するサービスの向上に努めております。 指定管理者制度における各種報告については、市と指定管理者とで締結する基本協定書に基づき、業務の実施状況、利用状況、経理の状況等を記載した事業報告書等の提出をお願いしております。また、例年、指定管理者と所管課を対象とした連絡会議を開催し、指定管理者制度等について意見交換する場を設けております。 業務委託については、個別の委託業務の性質、内容等が多岐にわたっていることから、市としての統一した報告様式は定めておりませんが、仕様書及び業務委託契約書に基づき受託者から成果品や報告書等を提出いただいているところです。 施設で働く職員の労働条件については、指定管理者の選定の審査項目に「適正な労働状況の確保」を設けており、定期的に賃金や労働時間等の労働条件について調査を行うなど、その把握に努めています。 （財政部資産管理活用事務局・総務部職員課） 平成27年2月に策定した公共施設等総合管理計画に基づき、平成32年度までに公共施設等の個別施設計画を策定することとなっており、この計画に基づき公共施設整備の進行管理を図ってまいります。 （財政部資産管理活用事務局） ※ 後段は、市長公室で回答

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【財政部関係】 P 3 - 地域の税収が一定程度地区で執行できる枠組みを検討されたい。 P 3 - 枠配分方式の弊害を検証して、部局横断的かつ弾力的な運用や地域要望にそった施策を実施されたい。 P 3 - 公共施設等整備基金の計画的な積み増しを図られたい。予防管理の視点を導入すすめられたい。 P 3 - 借入金の更なる圧縮に努められたい。	毎年度の予算編成において、限られた財源を有効に配分するために事務事業の優先度及び緊急度等全庁的に判断し予算計上しておりますことから、税収を一定程度地区で執行できる枠組みにつきましては、当面難しいものと考えております。 （財政部財政課） 行政評価を活用した施策別予算配分方式を導入した結果、成果を重視したマネジメントサイクルの定着化が図られた一方で、義務的経費の増大などにより、重点施策に優先的に配分する一般財源の確保が困難となり、施策別予算配分方式における予算編成が効果的に機能しにくくなったところです。 そこで、27年度からスタートした総合計画実施計画において「戦略プロジェクト」を創設したことに伴い、予算の重点化について、28年度当初予算編成より、施策単位の配分から戦略プロジェクトの構成事業単位に予算を重点配分する方法に見直したところです。 また、これまでも限られた財源をより効果的に市民福祉の向上や地域要望に反映させるという視点で所要額を配分してきたところであり、今後もそのような考え方で対応してまいります。 （財政部財政課） 平成28年2月に策定した「公共施設保有最適化・長寿命化中期計画」を確実に実施できるよう期間中の所要財源の一部として、平成28年度の当初予算及び8月補正予算において約18億円を積立てたところであり、今後も基金の充実を図ってまいります。 （財政部財政課） 後年度への負担軽減を図るため、毎年度の新規市債発行額を、臨時財政対策債を除き予算総額の8%以内かつ元金償還額以内となるよう努め、市債残高の縮減に努めてまいります。 （財政部財政課）

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 3 ・ 岩手競馬の収支および今後の運営の見通しの説明とあわせて融資についての回収の方向性を示されたい。	(1) 岩手競馬の収支 28年度の岩手競馬第3期(4/1～10/24)までの発売額は、計画額16,718百万円に対し、実績額19,761百万円、計画達成率は118.2%であり、インターネット等の発売額の伸びにより堅調に推移し、当期利益は5億2千5百万円の見込みとなっています。 (2) 今後の運営の見通し 競馬組合は、これまで岩手競馬組合競馬事業収支改善計画(H22～36)に基づき、①低コスト経営体質への構造転換や発売体制の充実強化 ②経営構造の転換のための地全協交付金猶予により、新たな経営構造の構築を進めてきました。 ここ数年は、インターネット発売の大幅な伸びにより発売収入を伸ばしており、平成28年度は、これまでに比べ大幅な利益の確保が見込まれております。今後も、インターネット発売による伸びが見込まれるほか、自場発売についても前年度を上回るようファンサービスやPR等経営の改善に取り組むとともに、取組老朽施設の整備や馬資源の確保に努め、本計画の着実な推進に努めることとしています。 (3) 融資について回収の方向性 平成28年度については、12月1日に開催された競馬組合定例会において、管理者である岩手県知事が、融資の返済の意向があることを明言したことから、返済の可能性が高いと考えております。 今後も、岩手競馬の安定的な運営に支援していくとともに、融資の返済を継続的に行うよう申し入れを行ってまいります。 (財政部岩手県競馬組合経営改善対策事務局)
P 3 ・ 未収金解消のための施策の実施と収納率の向上を図られたい。同時に市の債権の名寄せを実施され回収を措置されたい。	収納率向上対策につきましては、平成14年に市税等収納率向上対策推進本部を設置し、以後、収納率の向上及び累積滞納の縮減を図るべく、本部方針の下に取組みを強化してまいりました。 平成28年7月に開催した上記本部会議において ① 収納率向上による自主財源の早期確保

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 3 ・ 広告収入を確保されたい。また、寄付をより受け入れるような体制をつくられたい。	② 事務の効率化による徴収等経費の削減 ③ 滞納整理等に係る具体的な数値目標の設定 を平成28年度の基本方針とし、目標収納率を95.50%以上としたところであり、市税等の自主財源の確保を図るため、滞納整理の厳正化や効率的な収納体制の整備などをより一層すすめ、全庁を挙げて取り組んでおります。 平成29年度におきましては、納税推進センターにおいて現年度分の少額滞納者に対して、架電業務以外にも文書催告作成や財産調査補助業務等ができるように検討をしているほか、引き続き、コンビニ収納が可能な9科目の東北地区の郵便局での納付、ペイジーによる口座振替手続の簡素化等による口座振替の推進、及び税外も含めた盛岡市納税推進センターにおける早期収納に向けた納税勧奨を進め、収納率の向上及び累積滞納の縮減に向け、職員が一丸となって取組を進めることとしております。 債権の名寄せにつきましては、原則、賦課担当所管課が徴収までを一元的に行うこととしておりますが、公債権につきましては、引き続き必要に応じ納税課及び税外歳入担当課が連携して取り組み、歳入の確保を図ってまいります。 （財政部納税課） 市広報やホームページ、各種印刷物への広告掲載のほか、新たな広告媒体として、ネーミングライツやスポーツ施設広告掲出事業など、広告収入を確保する方策を図ってまいります。 また、もりおか元気応援寄付金（ふるさと納税）の受入については、平成28年9月から市の特産品等を返礼品として贈呈することを開始したほか、これまでの金融機関での納入に加えて、インターネットとクレジットカードを活用した寄附の申込みから入金までを一連で行える環境を整備したところでありますが、今後におきましても寄附者がより寄附しやすい体制となるよう取り組んでまいりたいと存じます。 （財政部財政課・市民税課）

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【環境部】 P 5 新電力からの電力購入を積極的に図り、光熱費の削減をすすめられたい。	平成28年4月から電力小売全面自由化に伴い、体育施設のうち総合プールなど高圧受電契約の10施設において、新電力からの電力購入に切替えたことにより、一定の削減効果が見られているところです。 他の施設におきましても新電力からの電力購入を検討してまいりたいと存じます。 （財政部財政課）

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【市長公室関係】 P 1 ・ 冬季五輪誘致のため調査費の計上をされたい。 また、国体以降の活性化として世界アルペン大会や冬季アジア大会、NHKフィギア大会など冬季スポーツ大会誘致を促進されたい	国際レベルの大会を開催することは、地域にインフラ整備効果や経済効果などをもたらすほか、トップアスリートの競技を間近に観戦できることで、市民のスポーツ人口の拡大や競技力の向上にも寄与するものと考えております。また、その一方で誘致に向けた市民意識の醸成、誘致体制の構築、又は経済的負担などの課題があるものと存じております。従いまして、現段階では調査費の計上は考えておりませんが、平成28年度内に設立予定の（仮称）盛岡広域スポーツコミッションの取組の中で、2020東京オリンピック・パラリンピックの国内予選会・事前合宿誘致の取組を通じて冬季スポーツ大会につきましても視野に入れながら、スポーツツーリズムの推進の中で検討してまいりたいと存じます。 （市民部スポーツ推進課）
【市民部関係】 P 4 ・ 町内会への補助金を増額されたい。	平成27年3月に策定した盛岡市町内会・自治会協働推進計画において、町内会・自治会等の補助金申請の手続きを簡素化し、使途の自由度を高める協働推進奨励金制度を28年度から開始いたしました。 今後にも必要に応じて、町内会・自治会をはじめ多くの市民の方々の御意見をお聞きしながら、見直し・改善等に取り組んでまいります。 （市民部市民協働推進課）
P 4 ・ 補助金を減額しておきながら、別の補助金を創設している。以前の水準に戻すことも検討されたい。（町内会行事や伝統行事などで補助金の削減がある一方で別口で、補助金の受け取れる制度を作っている現状がある）	平成27年3月に策定した盛岡市町内会・自治会協働推進計画において、町内会・自治会等の補助金申請の手続きを簡素化し、使途の自由度を高める協働推進奨励金制度を28年度から開始いたしましたが、この制度では、基本的に従来の支給額を維持しております。 今後にも必要に応じて、町内会・自治会をはじめ多くの市民の方々の御意見をお聞きしながら、見直し・改善等に取り組んでまいります。 （市民部市民協働推進課）

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 4 特定の市民に複数の役職が集中している実態を把握され、市民参加が市民負担となっていないか実態を調査されたい。	盛岡市町内会・自治会協働推進計画を策定した際に、市内40ほどの町内会・自治会にお話を伺ったところ、それぞれ抱える課題は必ずしも共通ではありませんでしたが、特に、役員の高齢化や町内会・自治会活動に参加しない住民の存在、役員の担い手不足などの御意見をいただいております。 市は、役員の事務負担の軽減や、現役世代及び女性が役員を担うことへの抵抗感を減らすため、28年度から協働推進奨励金制度を開始いたしました。 さらに、市民協働推進センターを設置したほか、地域担当職員制度を開始しましたので、地域に身近な市の窓口として御活用いただきたいと存じます。 （市民部市民協働推進課）
P 4 自転車事故防止のために、車道の左側走行と夜間ライト点灯の指導を強化していただきたい。	自転車事故防止のための指導につきましては、通勤通学時における交通指導員による歩行者や自転車利用者に対する街頭指導のほか、交通安全教育専門員、交通指導員による小・中学校における交通安全教室での指導や学校、警察及び市の連携による高校生、大学生を対象とした学校周辺での通行指導を行っております。また、毎月8の日（岩手県自転車安全指導の日）には、関係機関及び関係団体と合同で、街頭での安全利用の呼びかけやルール・マナー違反者への指導を行っております。 市といたしましては、今後も警察及び関係団体等と連携を図りながら、自転車利用者に交通ルールの遵守や安全利用を引き続き呼びかけてまいりたいと存じます。 （市民部くらしの安全課）
P 4 新市営球場は県営球場との合築にしたい。	新市営野球場の県との共同整備につきましては、県におきましても異論はないものと伺っており、国体終了後から具体的な協議に入っており、現段階では内容を公表できるものではございませんが、民間活力導入可能性調査の実施に向けた検討を進めているところであります。 （市民部スポーツ推進課）
P 4 国民健康保険の広域化における行程や概要、運営方針を早期に示されたい。	平成30年4月から開始される国民健康保険の広域化では、都道府県が市町村とともに国民健康保険の運営を担い、財政運営の責任主体となる一方、市町村は、保険料の賦課・徴収、保健給付、保健事業などを実施することになっております。

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
	現在、県主導のもと、県、市町村及び国保連による協議の場であります広域化等支援方針策定推進連携会議及びそのワーキンググループにおいて、運営方針、納付金の算定方法及び標準保険料率、交付金・財政運営等についての協議が行われているところです。各協議は平成29年度上半期まで続く予定であり、県では、根幹である運営方針につきましては、平成29年3月までに素案をまとめ、運営協議会等での審議を経て、平成29年10月を目途に、納付金・標準保険料率については平成30年1月に決定、公表するとしております。 本市といたしましても、広域化への円滑な移行と制度の安定化に向けて、先の連携会議や周辺市町と構成する国保盛岡地区協議会を通じて、引き続き、意見、要望してまいりたいと存じます。 （市民部健康保険課）
P 4 ・ 総合プール・アイスリンクの近くに、ミーティングが出来る程度の広さの部屋を備え、長期滞在が可能なくらい安価な、合宿用宿泊施設を設置していただきたい。	総合プールやアイスリンクの近接地への合宿用宿泊施設の設置につきましては、利便性が向上すると存じますので、民間活力を生かした整備手法の検討など幅広く研究してまいりたいと存じます。なお、当面は、つなぎスポーツ研修センターの利用率向上に努めてまいりたいと存じます。 （市民部スポーツ推進課）
P 4 ・ 芸術・文化都市条例の制定に向けた市民からの意見聴取を行われない。	文化振興のための条例を策定しているのは、中核市43市中12市（文化庁HPから抜粋）となっております。 また、国においては、文化芸術創造都市の推進を図り、文化芸術の持つ創造性を領域横断的に活用し、自治体や市民（文化ボランティア、アートNPOなど）、企業などと協働による地域の課題解決に向けた取組への支援を進めようとしております。 本市におきましても、文化芸術によるまちづくりの推進を図るため、（仮称）芸術文化振興ビジョンの策定を進めており、策定に当たり文化芸術団体から意見を聴取しているところです。その中で条例制定の必要性を含め、検討してまいりたいと存じます。 （市民部文化国際室）
P 4 ・ 社会的引きこもりの実態把握と社会復帰のための施策を実施されたい。	社会的ひきこもりに対する施策につきましては、平成27年3月に策定された「盛岡市子ども・若者育成支援計画」の「基本目標2 困難を有する子ども・若者の自立を目指します」において、「地域を知る方々の協力を得ながら早期発見・早期支援」、「行政と民間支援

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【建設部関係】 P 10 ・ 歩行者の安全特に通学路の安全対策を強化するためにゾーン30の計画的な導入を促進されたい。	団体のネットワークを活用した相談・支援」,「岩手県ひきこもり支援センターとの連携による支援方法の検討や情報共有」を施策の方向性として掲げております。 ひきこもりの実態把握は,その性質上困難な状況にありますが,今年度はその取組みの一つとして,岩手県立大学との地域共同研究により,「社会的ひきこもりの回復過程の考察及びロールモデルの作成」を実施しており,社会的に孤立している方や家族を相談機関に結びつけるきっかけとなるとともに,支援者の参考となるような冊子の作成を目指しております。今後はこの取組みの成果を検証しながら,関係機関・団体との連携を強化し,引き続き施策の充実に努めてまいります。 (市民部男女共同参画青少年課) 盛岡市内のゾーン30につきましては,現在,杜陵,本宮,土淵,見前の各小学校周辺に設定されております。警察署にゾーンの設定の考え方について伺ったところ,「学校周辺や通学路は,ゾーンを設定すべき区域の選定の大事な要件のひとつである。」とのことでしたので,今後のゾーン30設定にあたっては通学路を優先的に選定するよう,引き続き所轄警察署に要望してまいりたいと存じます。 (市民部くらしの安全課)

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【環境部関係】 P 5 - 資源再利用を促進するためにストックヤード設置の補助の件数と補助率の増強を図られたい。 P 5 - 地球温暖化防止のための実行ある施策を実施されたい。 P 5 - 市の施設は太陽光発電所とする施策をされたい。また、エネルギー供給先を見直し電気料金の削減を実施されたい。	ストックヤードの整備は、資源再利用の促進のために非常に有効なことを考えております。ごみ集積場所等整備事業補助金は、設置に要する経費の2分の1に相当する額を補助しており、平成21年度から上限を7万円から10万円に引き上げております。また、件数は、町内会・自治会からの要望を基に予算化しており、23年度8件、24年度15件、25年度11件、平成26年度11件、平成27年度3件を補助し、平成28年度は4件となる見込みです。今後につきましても地域の要望に応えられるよう、予算確保に努めてまいります。 （環境部資源循環推進課） 盛岡市地球温暖化対策実行計画に掲げる温室効果ガス削減には、市民の理解と協力が必要であることから、「盛岡市環境学習広場（エコアス広場）」や生出地域エコタウン事業の中心的施設である「ユートランド姫神」を活用して各種環境講座を開催するほか、環境パネル展、環境出前講座、環境啓発イベント、地域での懇談会等を引き続き実施し、啓発を図ってまいります。 また、再生可能エネルギー率先導入として、公の施設に太陽光発電システムやペレットストーブの設置を検討するほか、庁舎の照明や地域の防犯灯のLED化等省エネに向けた取組を行ってまいります。 市民への再生可能エネルギーの普及及び省エネ促進事業として、住宅用の太陽光発電システムについて、太陽光発電システム及び蓄電池と併せて平成28年度からホームエネルギーマネジメントシステム（HEMS）も補助対象としており、今後も再生可能エネルギーの効率的な利用を促進する補助制度を実施してまいります。 また、再生可能エネルギー設備設置を検討している事業者につきましても、でき得る限りの支援を行うとともに、その取組を環境啓発事業等で広く市民に周知してまいります。 （環境部環境企画課） 盛岡市地球温暖化対策実行計画に基づき、公の施設への再生可能エネルギー率先導入を推進してまいります。また、平成28年4月の電力小売全面自由化に伴い、新電力会社から供給を受けることも可能となったことから、これらの情報を収集し、電力料金の削減について研究してまいります。 （環境部環境企画課）

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 5 ・ エネルギーシフトをはかり，地産のエネルギー自給率の向上を図られたい。	平成27年度に実施した広域内のエネルギー地産地消システム構築のためのエネルギー需給状況及び事業スキームの検討を基に，エネルギー地産地消事業を検討してまいります。 (環境部環境企画課)
P 5 ・ 中小水力発電や風力発電，木質バイオマス発電の積極導入やスマートハウスの導入などエネルギー施策の展開と地域活性化の導入策を図られたい。	中小水力発電につきましては，設置可能な適地について関係部署と協議を行いながら，導入を検討してまいります。 風力発電につきましては，環境啓発を目的に公の施設への設置を検討するとともに，平成28年度には姫神山麓において民間事業者による大規模風力発電施設が着工されておりますことから，事業者に対し支援をしてまいります。 木質バイオマスにつきましては，森林が7割を占める当市において地域特性に適した再生可能エネルギーと認識しておりますことから，関係部署と連携し，発電のほか熱利用も含めた活用について研究してまいります。 また，住宅で使用する電力の管理・標準化を行うスマートハウスは省エネに効果的であることから，平成28年度より住宅用太陽光発電システムの導入と併せて設置するホームエネルギーマネジメントシステムへの補助を実施しており，今後もその普及促進に努めてまいります。 (環境部環境企画課)
P 5 ・ 新電力からの電力購入を積極的に図り，光熱費の削減をすすめられたい。	※ 財政部で回答
P 5 ・ ゴミ処理広域化における新クリーンセンター建設の際，地元住民と交わした「覚え書き」の遵守を行われたい。また，合意形成を丁寧に行われたい。	県央ブロックにおける新ごみ焼却施設の整備候補地につきましては，学識経験者や住民代表を中心とする「県央ブロックごみ処理施設整備候補地検討委員会」を設置して検討し，平成28年度内には3箇所程度の最終候補地を選定することとしておりますが，現クリーンセンター周辺住民との覚書については，締結した趣旨に沿って鋭意協議してまいります。 また，合意形成については，情報提供や説明会等を通じて住民の皆様の意見を伺いながら御理解を得たいと考えております。 (環境部廃棄物対策課)

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【保健福祉部関係】 P 6 ・ 特定不妊治療に対する助成内容の充実をされたい。また市単独での助成上乗せを実施されたい。 P 6 ・ 児童クラブ未設置地区への早期の対応をされたい。 P 6 ・ 通年を通じ待機児童の解消を図られたい。 P 6 ・ 健康寿命の増進策およびインセンティブの導入を図られたい。	特定不妊治療につきましては、国の制度に基づいて、市の窓口や医療機関などを通じて制度の周知を図りながら、治療費の助成を行っているところでありますが、国の一億総活躍社会の実現に向けた緊急に実施すべき対策として、平成28年1月に制度改正され、初回助成額の拡充と新たに男性不妊治療も助成対象となったところであり、平成27年度から対応しているところです。市単独の補助金上乗せにつきましては、他の事業との優先度などを総合的に勘案しながら、検討してまいりたいと存じます。 (保健福祉部保健所健康推進課) 児童センターの未設置学区につきましては、今後の就学児童数の推移や地元からの要望等を踏まえるとともに、設置にあたりましては、用地の確保や建設費等の財政的な問題、市全体としての公共施設の配置のあり方等を考慮しながら計画的に進めてまいります。 (保健福祉部子育てあんしん課) 平成28年4月1日時点の待機児童数は「ゼロ」となりましたが、特定の保育所等を希望するなどの理由により、保育所に入所できなかった児童は多数おりますし、また、産休や育休明けあるいは転入などに伴い、年度途中からの保育所の利用希望も増える傾向がありますので、引き続き保育所の整備等を進め、年間を通じた待機児童の解消に努めてまいります。 (保健福祉部子育てあんしん課) 健康寿命の増進策につきましては、平成27年度から向こう10箇年の市民の健康づくりの指針となる「第2次もりおか健康21プラン」の中で、健康づくりの重点項目として「健診受診率を高めるための健康づくり情報の提供」「食習慣の見直しによるスマートライフの推進」「毎日プラス10分運動の推進」を掲げ、各種施策に取り組むことにより、健康寿命の延伸を図ることとしております。 また、インセンティブの導入につきましては、市民の皆様の健康づくりを応援する新しい手法として、健康づくりの取組をポイント化し、そのポイントで買物できるような仕組みを検討しているところであり、先進事例を参考に、平成29年度事業実施に向け関係課と

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 6 介護保険料の値上げを押さえられたい。	調整を行っているところです。 (保健福祉部保健所健康推進課) 平成27年度から29年度までを計画期間とする第6期介護保険事業計画においては、保険料を、市の介護給付費準備基金の取り崩しにより、保険料の引き上げの抑制を図りました。また、所得の低い方の負担の軽減を図るため、保険料段階2段階と4段階の料率を軽減したほか、公費による保険料軽減強化の仕組みが制度化されたことにより、第1段階の料率を軽減したところであります。 本年11月には、全国市長会を通じて、被保険者の保険料負担が過重とならないよう国庫負担割合の引き上げを要請したところであり、今後においても、引き続き要望してまいります。 (保健福祉部介護保険課)
P 6 生活保護の適正な執行をされたい。自立支援の強化とあわせて、不正受給対策を強化されたい。	生活保護の実施については、福祉事務所としての組織的な対応と、保護の受給要件の的確な把握や世帯の生活実態の把握を徹底しているほか、関係機関との連携強化や研修等を通じた査察指導機能及びケースワーク技術の向上により、適正な実施に努めているところであります。 また、国や県による生活保護法施行事務監査が毎年度実施されており、監査での指導等に対する事務改善により、適正かつ円滑に生活保護事務を執行しているところであります。 被保護世帯の自立支援の強化策としては、平成17年度から公共職業安定所と連携した就労支援プログラムによる被保護世帯の早期自立に向けた組織的な取組を開始し、21年度から稼働能力活用プログラムとして、就労支援相談員による求職活動支援を実施するとともに、23年度から職場体験事業・ボランティア体験事業を追加する形で、段階的な就労支援制度を被保護者のニーズに合わせて支援することにより、就労意欲の喚起と就労の実現化を図ってきており、平成25年10月からは福祉事務所内にハローワーク盛岡就労支援コーナーを併設し、組織的な取組の強化を図ってきたところであります。 なお、27年度からは生活保護法の一部改正により、法定実施事業として、引き続き被保護世帯の早期の経済的自立支援に努めているところであります。 不正受給対策としては、保護開始時に「保護のしおり」を交付し、権利・義務の説明を十分に行っており、継続ケースに対しては、毎年度、課税状況調査を行っているほか、年

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 6 生活困窮者自立支援事業の就労準備や家計相談等支援事業を実施されたい。また、民間団体と連携し、学習支援事業を初めとした子どもの貧困対策を強化されたい。	に2回、権利・義務や不正受給防止に関するリーフレットを全保護世帯に送付するとともに、必要な人には確実に保護を実施する生活保護制度の基本的な考え方を維持しつつ、今後とも当該制度が国民の信頼に応えられるよう、法令や実施要領等に基づき、適正な保護を実施してまいります。 (保健福祉部生活福祉第一課・第二課) 「就労準備支援事業」については、平成28年度から事業実施しておりますが、家計相談支援事業についても、家計管理能力の向上を必要とする方に生活再建支援を行うため、事業実施に向け予算確保に努めてまいります。 また、26年度まで生活保護事業の中で実施してきた就学支援事業については、生活困窮者自立支援制度の「学習支援事業」として引継ぎ、就学支援相談員による就学相談等を継続実施するとともに、生活困窮世帯及び生活保護世帯の中学生を対象として学習の場を提供しており、27年度は31人の利用実績でしたが、28年10月末時点で51人の利用があり、利用者の増加がみられることから、今後とも事業の充実を図ってまいります。 子どもの貧困対策につきましては、現在、岩手県立大学とすすめている、共同研究の成果も踏まえ、推進を図ってまいります。 (保健福祉部生活福祉第一課・第二課・子ども未来課)
P 6 児童虐待に対する市民への啓発を強化して頂きたい。また、受胎時からの切れ目ない支援を実施する体制を作って頂きたい。	児童虐待に対する市民への周知につきましては、11月の児童虐待防止推進月間を広報「もりおか」に掲載するとともに、保育園や幼稚園、小中学校、各関係施設にポスターやチラシを配布し、周知に努めているところであります。また、保育所や幼稚園、学校の職員を対象に研修会を開催し、児童虐待への知識を深める機会としているほか、地域の見守りを行っております民生委員の研修会においても啓発活動を行っております。これらの活動を継続するとともに、他都市の状況を参考に、啓発の強化に取り組んでまいります。 また、妊娠期から子育て期にわたるまでの保健や育児に関する保護者の悩みに対して、専門的知見から総合的相談支援を提供するため、平成28年4月、保健所1階に、保健師、助産師、社会福祉士を配置した子育て世代包括支援センターを開所し、児童虐待の早期発見、早期対応する体制を整備いたしました。 今後、子育て世代包括支援センターを活用し、各機関と連携して切れ目ない支援体制を強化してまいります。

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 6 介護施設の増設，定員増を前倒しで進められたい。空き施設などのあっせんなど他の部署との連携を取られたい。	(保健福祉部子ども未来課) 平成27年度から29年度を計画期間とする第6期介護保険事業計画においては，団塊の世代が75歳となる平成37年度を見据え，高齢者の在宅生活支援の居宅サービスの充実を図りつつも，緊急に対応が必要な入所待機者の状況を踏まえ，特別養護老人ホーム180床及び地域密着型の特別養護老人ホーム29床，老人保健施設60床，認知症高齢者グループホーム63床を整備することとしました。平成29年度は，特別養護老人ホーム90床を整備する予定であり，入所待機者の解消につなげてまいりたいと存じます。 増設や定員増を前倒しで進めることについては，介護給付費に影響するものであり，難しいものと考えているところでありご理解をいただきたいと存じます。 また，平成30年度以降の施設整備につきましては，平成29年度に実施する第7期介護保険事業計画の策定の中で検討することとしており，入所待機者の推移を注視しながら，整備量を決定することとしております。 空き施設などのあっせんについては，空き店舗等の情報について商店街等と連携し状況把握に努め，適宜に情報を提供してまいります。 (保健福祉部介護保険課・商工観光部経済企画課)
P 6 障がい者が地域で暮らせるよう仕組みづくりを講じられたい。特に、障がい者の高齢化に対して、施設設備等の計画を明確にすること。	障がいのある人が住み慣れた地域で安心して暮らせるように居住支援機能と地域支援機能の一体的な拠点整備については，平成27年度から実施されている盛岡市障がい福祉実施計画において，1箇所整備することとしており，平成29年度は，その実現を目指して取り組んでまいります。 福祉施設に入所している方の地域移行については，グループホームやアパート，一般住宅等地域での生活を目指し，特にグループホームについては地域移行の有効な受け皿であると認識しており，毎年2ホーム程度の新設を見込んでおります。 特に，障がい者の高齢化に対する施設整備については，当事者団体や自立支援協議会等の意見を聞き，事業者等にも情報提供しながら，地域で安心して暮らしていただくための整備を目指してまいります。 また，地域包括支援センター等他機関との連携により支援のネットワークを構築し，高齢化問題や介護保険への移行について切れ目のない支援を行う仕組みを強化するよう取り組んでまいります。

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 6 難病患者に対する各種支援を講じられたい。また癌患者への就労支援を御検討いただきたい。	(保健福祉部障がい福祉課) 平成27年1月に「難病の患者に対する医療等に関する法律」が施行され、医療費助成の対象疾患が現在306疾患となっております。こうした制度利用に係る周知徹底を図るとともに、患者及び家族が、正しく病気を理解し、療養上の不安を解消して安心した療養生活を送ることができるよう、専門医による医療講演や個別相談、当事者同士の情報交換の場として「医療講演・医療相談会」を開催しております。また、保健予防課に療養上の相談窓口も開設しており、保健師が随時相談をお受けしております。 また、「難病医療コーディネーター」(県が岩手医大に委託)と連携した在宅人工呼吸器装着者への定期訪問や、地域の医療・福祉関係機関の連携強化を図るため「在宅難病患者支援事業連絡会」を開催しております。 今年度は、岩手県難病医療連絡協議会において、難病患者を支援する方々に向けた「難病支援サービスガイド」を作成しております。 更には、平成25年4月の「障害者総合支援法」の施行により、新たに難病患者を障がい福祉サービスの対象としております。平成27年7月には対象疾病が332疾病へ拡大され、さらに障害福祉サービス(介護給付・訓練等給付)、補装具(車いすや歩行器などの購入・修理に必要な費用の支給)、日常生活用具給付などの地域生活支援事業のサービスが利用できることとなっており、徐々に利用者が増えきていることから、今後も関係機関や当事者団体等の協力をいただきながら、周知を図ってまいりたいと存じます。 (保健福祉部保健所保健予防課・保健福祉部障がい福祉課) ※ 後段は、商工観光部で回答
P 6 子ども未来基金の周知を積極的に行って頂きたい。	子ども未来基金につきましては、本年9月に補助対象事業の公募及び公開審査を行い、子どもの居場所づくり事業など6件に対し補助決定したところです。 今後、より多くの市民、団体に関心を持っていただくため、子ども未来基金を活用した事業の成果を公表することで、次の事業提案に結び付けていくとともに、周知チラシ等を作成することにより、子ども未来基金への寄附についても、積極的に周知を図ってまいりたいと存じます。 (保健福祉部子ども未来課)

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【市長公室関係】 P 1 国際会議場の設置および国際会議の実績を積んで頂きたい。I L C誘致の効果が仙台市に流れないようにされたい。	国際会議場の設置につきましては、国際会議の誘致に大きなアドバンテージとなり、I L Cの建設や関連施設の整備、研究者の集積など将来的な需要を考えますと、非常に興味深い内容と存じますが、その必要性につきましては、専用施設の需要見通し、施設の設置・運営主体、財源・整備手法、維持管理の問題なども含め、総合的な判断が必要と考えており、調査研究してまいりたいと存じます。 また、国際会議の誘致についてであります。本市は会議・宿泊施設などのハード面やコンベンションビューローなどソフト面の体制が整備されているほか、平成27年度にM I C E開催助成制度を創設したところであり、国際会議の開催環境は整っているものと存じておりますことから、今後におきましても、盛岡観光コンベンション協会や関係団体などと連携し、訪日外国人旅行客の受入態勢の整備を図りながら、国際会議の誘致促進に努めてまいりたいと存じます。 （商工観光部観光交流課） ※ 後段は、市長公室で回答
【保健福祉部関係】 P 6 介護施設の増設、定員増を前倒しで進められたい。空き施設などのあっせんなど他の部署との連携を取られたい。	平成27年度から29年度を計画期間とする第6期介護保険事業計画においては、団塊の世代が75歳となる平成37年度を見据え、高齢者の在宅生活支援の居宅サービスの充実を図りつつも、緊急に対応が必要な入所待機者の状況を踏まえ、特別養護老人ホーム180床及び地域密着型の特別養護老人ホーム29床、老人保健施設60床、認知症高齢者グループホーム63床を整備することとしました。平成29年度は、特別養護老人ホーム90床を整備する予定であり、入所待機者の解消につなげてまいりたいと存じます。 増設や定員増を前倒しで進めることについては、介護給付費に影響するものであり、難しいものと考えているところでありご理解をいただきたいと存じます。 また、平成30年度以降の施設整備につきましては、平成29年度に実施する第7期介護保険事業計画の策定の中で検討することとしており、入所待機者の推移を注視しながら、整備

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 6 ・ 障がい者や癌など治療中の方々の雇用を促進するための対策を講じること。	量を決定することとしております。 空き施設などのあっせんについては、空き店舗等の情報について商店街等と連携し状況把握に努め、適宜に情報を提供してまいります。 （保健福祉部介護保険課・商工観光部経済企画課）
P 6 ・ 難病患者に対する各種支援を講じられたい。また癌患者への就労支援を御検討いただきたい。	※ 前段は、保健福祉部で回答 がんなど長期療養が必要な方々の就職を支援するために、盛岡公共職業安定所において、就職支援ナビゲーター配置し、個々の患者の希望や治療状況を踏まえた職業相談・職業紹介等の就職支援を行っております。また、がんなど疾病を抱える労働者に対しては、独立行政法人労働者健康安全機構が設置する岩手産業保健総合支援センターにおいて、治療と職業生活の両立に向けた支援を行っておりますことから、市に相談があった際は関係機関につなげてまいります。 （商工観光部経済企画課）
【商工観光部関係】 P 7 ・ 空き店舗対策の拡大と屋守事業などの仲介事業を市の事業として行えるよう、街中再生にむけた支援策を講じられたい。また、テーマ性を	現在、空き店舗対策として、中心市街地エリアで空き店舗を活用し、新たに開業する方に改装費の一部助成を行っているところですが、平成26年度からは、新たに飲食業など昼の来街者の増加に寄与する業種を対象に追加したところです。なお、空き店舗対策は、各

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
もった活用も考えていただきたい。	個店への支援もさることながら、商店街としての魅力向上も重要な要素の一つであることから、市内全域の商店街等を対象としたコンサルタントや講師の派遣を行っているほか、盛岡市商店街連合会を経由したイベント支援、街路灯電気料支援、情報発信などを行い、市全域の商店街の魅力向上を図っているところでございます。 家守事業などの仲介事業については、民間活力による事業運営が望ましいと考えており、商店街等と連携し、空き店舗情報の提供を行いながら、街なか再生につながるよう努めてまいります。 また、テーマ性をもった活用につきましては、活用情報の収集に努めるとともに、商店街等の関係者との意見交換を通じて、対応してまいりたいと存じます。 （商工観光部経済企画課）
P 7 ・ 中小企業振興条例の制定を行い、中小企業振興を実効あるものにされたい。	市では、条例制定においては、市内事業者による共通認識の醸成が重要であるとの認識のもと、岩手県中小企業家同友会などと意見交換を行ってきたところであります。 地域経済の活性化には、地場中小企業の成長が不可欠でありますことから、岩手県が平成28年3月に策定した中小企業振興基本計画の内容も踏まえ、引き続き、盛岡商工会議所や関係団体との意見交換を継続し、さらに議論を深めてまいりたいと存じます。 （商工観光部経済企画課）
P 7 ・ 中心市街地のみではなく、バランスの良い街づくりの為の対策を講じられたい。	※ 都市整備部で回答
P 7 ・ 玉山区を含む北東部地域の振興の為、工業団地の整備を促進されたい。	玉山地域を含む北東部地域の振興は、当市のバランスのとれた発展を図る上からも重要であると認識しており、玉山地域を含め工業団地整備を促進するため、平成27年度は団地候補地の基礎調査や企業の整備用地への立地に関する適地調査等を実施しており、平成28年度において、この調査結果を基に（仮称）盛岡市新産業等用地基本計画を策定し、整備候補地の選定等を行なっているところです。また、現在、立地企業の掘り起こしに取り組んでいるところであり、今後とも引き続き情報収集に努め、工場集積の具体化に向けて努力してまいります。 （商工観光部ものづくり推進課）

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 7 観光における二次交通（バス、タクシー・レンタル自転車）利用促進策を講じられたい。	J R 東日本や旅行会社の企画商品として、観光の目的地などでバスやタクシーを低料金で利用できるプランがありますが、今後も観光客のニーズに対応した商品開発を旅行会社などに働きかけるとともに、新規路線の可能性を含めた検討などをバス・タクシー事業者にも働きかけてまいります。 また、市内には、盛岡観光コンベンション協会をはじめ複数のレンタサイクルの貸出拠点がありますが、「歩いて楽しむまち」や「まちなか観光」の推進に向けて、これらの P R に努めてまいります。 （商工観光部観光交流課）
P 7 一日観光切符など鉄道・バス・観光施設一体となった切符を発行して頂きたい。	市内の一日観光を楽しめる旅行商品としては、J R 東日本やバス事業者、旅行会社などの企画商品がありますほか、市内の観光スポットなどをエリア別・テーマ別に紹介しており、これらの観光スポットを回る交通手段として、盛岡都心循環バス（でんでんむし）や「盛南ループ 200」などが運行されており、都心循環バスは1日に何度でも利用できる一日フリー乗車券も販売されているほか、この2路線を含む既存バス路線を活用した企画乗車券も販売されております。今後におきましても、市内観光を手軽に楽しめる商品の開発をバス・タクシー事業者や旅行会社に働きかけてまいります。 （商工観光部観光交流課）
P 7 石川啄木を通じた、函館市・文京区との連携や友好関係の締結を促進されたい。	※ 市長公室及び教育委員会で回答
P 7 つなぎ温泉の活性化や観光業の活性化を図られたい。	つなぎ温泉の活性化に向けて、つなぎ温泉観光協会の活性化事業への支援を行っており、同協会では、広告宣伝やホテル鑑賞会の開催、小岩井農場や鶯宿温泉との共同企画事業などを実施しております。また、平成25年8月に発生した大雨被害では、同温泉の宿泊施設等が甚大な被害を受けたことから、県と連携し、被害を受けた施設設備等の復旧支援事業や災害復興事業を実施したところであります。また、同温泉の資源を活用した活性化の取組も検討されておりますことから、観光地としての魅力の向上に向けて支援してまいりま

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 7 産業まつりを盛大に開催されたい。工業系を合体させて広い会場で実施されたい。	す。 (商工観光部観光交流課) 産業まつりは、盛岡地域の地場産品や盛岡ブランド認証品の宣伝啓発、市民の支持による地場産業の普及促進を目的に開催しており、広く市民及び消費者の一層の理解と支持を高め、地場産業の活性化とともに、特産品の消費拡大に努めているところであります。 平成28年度は産業まつりにおいて、地場企業の紹介をするブースを設置し、市内に立地する企業の事業内容について紹介したところであります。 工業系の出展につきましては、地場企業の製品や事業内容について市民に理解・認識を深めていただくことで、盛岡市広域の優秀な人材の首都圏等への流出を防ぎ、市内における人材の確保・定着や新たな市場開拓、販路の拡大が期待できるものでありますことから、費用対効果等を勘案しながら検討してまいりたいと存じます。 (商工観光部ものづくり推進課)
P 7 舟っこ流し行事において常設展示や説明看板の設置、記述本の発行をされたい。	盛岡舟っこ流しは、藩政時代から続く伝統行事であり、盛岡の夏の風物詩として知名度も高く、本市の重要な観光資源の一つと考えております。常設展示などにつきましては、場所や費用の問題など多くの課題がありますが、盛岡舟っこ流しを含む盛岡の地域文化や伝統行事などの魅力を広く発信しながら、地域資源を活用した観光振興の推進に努めてまいります。 (商工観光部観光交流課)
P 7 大型の山車が運行できるよう信号機や電線のあり方を検討されたい。	※ 建設部で回答

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【農林部関係】 P 8 新規就農者の確保をされたい。	新規就農者につきましては、平成23年度から27年度までの5年間の新規就農者59人のうち、青年就農給付金の取組により17経営体、18人の新規就農に結びついております。 また、先輩新規就農者等の現地視察と情報交換を23年度から実施しており、これまで35人が参加しております。 今後は、これまでの支援を継続していくほか、県農業公社の新農業人フェアやＪＡいわてグループの「農業担い手サポートセンター」、農業改良普及センター等と連携し、就農相談や情報提供などに努めてまいりたいと存じます。 （農林部農政課）
P 8 林業振興策や森林の活用策をしめされたい。	林業振興策につきましては、市内の森林は利用期を迎えているものが多いことから、公共施設整備や公共工事等への市産材の積極的な利用、木質バイオマス燃料への利用推進、市産材利用住宅への助成、並びに、町内会等への市産材の支給などにより、市産材を中心とした木材の需要拡大を図ってまいります。また、再造林や間伐などの森林整備への支援のほか、作業道開設や利用間伐への支援などを推進することにより、林業の活性化を図ってまいりたいと存じます。 森林の活用策につきましては、市では、外山森林公園、都南つどいの森及び平成市民の森を整備しており、森林散策など市民の憩いの場としての利用や、子どもたちや市民の森林環境教育の場として引続き活用してまいりたいと存じます。 （農林部林政課）
P 8 6次産業化を強化されたい。農家レストランや農家民泊を推進する施策の実施を求める。生産品の販売網の開拓や強化とあわせて、また甘草（かんぞう）など高付加価値品の栽培を検討されたい。	6次産業化の強化につきましては、市内には多くの産地直売所が設置され、農業者自身が生産したそれぞれの地域の生鮮野菜を販売するほか、加工したジュース、味噌及び漬物など、それぞれの産地直売所において特色を持った商品の販売を行うなどの成果を上げているところでございます。 また、地場産品を活用した商品を首都圏のフェアで紹介するなど、引き続き6次産業化の推進に取り組んでまいりたいと存じます。 農家レストランや農家民泊につきましては、取り組んでいる農家もございますが、関係機関や団体等で組織する盛岡市グリーン・ツーリズム推進協議会において、関係機関等との情

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 8 農業と福祉分野の連携を促進されたい。高齢者の生きがいと農業の連携を推進されたい。	報収集に努めてまいりたいと存じます。 また、薬用植物など付加価値の高い農作物の導入に関しましては、農協や農業改良普及センターと連携し、研究してまいりたいと存じます。 (農林部農政課)
P 8 福祉や教育、コミュニティー形成のための事業に利用する場合、遊休地、耕作放棄地を斡旋する仕組みを検討されたい。	農業と福祉分野の連携の促進につきましては、障がい者の自立支援、雇用の場の創出などを行う自立支援施設などに耕作放棄地等の情報提供を行うことや、土地所有者との利用調整などを支援することにより、耕作放棄地の解消にも繋がることから、今後とも農業と福祉分野の連携を図ってまいりたいと存じます。 高齢者の生きがいと農業の連携につきましては、市内10箇所に「市民農園」を開設して作物を育て収穫していただく体験を行っておりますほか、地域の共同活動として行われている多面的機能支払制度への参加など、地域資源の維持管理事業等に積極的に取り組んでいただけるよう促してまいりたいと存じます。 (農林部農政課) 遊休地、耕作放棄地においても、福祉や教育、コミュニティーにおける事業展開をするにあたっては、都市計画法や各種法の制約がありますことから、具体的事案に沿って対応してまいりたいと存じます。 (農林部農政課)

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【中央卸売市場】 P 8 卸，仲卸の経営実態を的確に把握されたい。	卸，仲卸の経営実態の把握につきましては，業者から毎月提出される売上・取扱高・残高試算表などの月例報告や，決算に係る事業報告などの年次報告により，経営状況を把握するとともに，指導を行っております。更に，公認会計士に財務検査の一部を業務委託し，専門的見地からの指導を行っております。今後におきましても，適正かつ健全な運営及び市民や出荷者，買受人からの信頼性の確保を図るため，卸・仲卸業者の経営実態の適正な把握と指導に努めてまいります。 （中央卸売市場業務課）
P 8 市場活性化ビジョンを着実に実行されたい。	「市場活性化ビジョン」の実行につきましては，平成24年度に策定した「市場活性化ビジョン2012」に基づき取り組み，一定の成果を上げてきたところであります。 現在，国の第10次卸売市場整備方針に沿って，市場の経営展望として新たな市場活性化ビジョンの策定を取り進めているところであり，平成29年度以降は，この新ビジョンに基づいて開設者と場内業者が一体となって取り組むこととしており，引き続き場内業者の経営向上と市場経営の健全化に努めてまいります。 （中央卸売市場業務課）
P 8 空き施設の活用と家賃収入を確保されたい。	これまで関係団体の協力を得ながらPRと情報収集を行い，未利用施設の有効活用に努め，平成27年度には業者事務室など3室を貸し付けしており，平成28年度には市場の空地を利用した施設建設の引合いもあり，今後におきましても，市場業務に関連する入居者や施設の目的外使用も視野に入れながら，引き続き有効活用ができるよう努めてまいります。 （中央卸売市場業務課）
P 8 他市場の改革成功例を取り入れ市場の活性化に取り組んでいただきたい。	市場の活性化につきましては，平成29年度に策定する「市場活性化ビジョン2017」に基づき，他市場との情報交換により得た事例を取り入れ，場内業者と協議しながら，一丸となって取り組んでまいります。 （中央卸売市場業務課）

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【商工観光部関係】 P 7 大型の山車が運行できるよう信号機や電線のあり方を検討されたい。	山車につきましては、市内一円を巡行するため、一般道における構造物等の高さ制限を受けるところもあり、大型の山車運行については、これら構造物の撤去等の費用が必要となりますことから、観光政策としての考え方を踏まえて研究してまいりたいと存じます。 (建設部道路管理課)
【建設部関係】 P 9 市営住宅における家賃の適正な納入を促進されたい。	住宅使用料等の収納率の向上を図り、市営住宅の安定した運営と入居者の負担の公平性を確保するため、滞納者に対して文書催告や、夜間・休日を含めた電話催告及び訪問催告を実施して納付指導を行っているほか、必要に応じて民事調停等の法的措置を講じております。 また、市営住宅等退去者滞納家賃等収納業務委託や平成26年度における滞納整理専門員の配置により納付勧奨等を強化しているとともに、平成27年度にはコンビニエンスストア収納の導入により納付機会の拡大を図っているところであり、今後とも家賃の適正な納入の促進に努めてまいります。 (建設部建築住宅課)
P 9 日戸柴沢線の常光寺より先の拡幅整備、また日の出橋の前後の道路整備を実施されたい。	※ 玉山総合事務所で回答
P 9 市道津志田白沢線の矢巾町境からの道路建設を促進されたい。各種計画への位置づけや連携中枢拠点都市としての基幹事業として位置づけられたい。	市計画道路津志田白沢線につきましては、国道4号と連絡するネットワークを形成するよう、接続する東西方向の道路と一体となった整備に取り組んでおります。事業区間は、都南文化会館南側から南側約300m区間で、平成22年度から事業に着手しており、現在は、事業区間南側の用地交渉を進めているところでございます。また、本路線は市と矢巾町を結ぶ主要な道路の一つと存じておりますことから、連携中枢都市圏形成のネットワークの

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 9 ・ 中心市街地における使い易い駐輪場の増設を図られたい。	強化を図る取組みとして位置づけを行いながら、南側の未着手の区間の整備について、現在着手している区間の進捗状況等を踏まえ、都市計画道路整備プログラムの見直しにおいて、検討してまいります。 (建設部道路建設課)
P 9 ・ 田沢湖線前潟駅の着工をされたい。	市では、平成20年4月1日施行の「盛岡市自転車の安全利用及び利用促進並びに自転車等の放置防止に関する条例」を受け、平成20年度に大通地区にパーキングチケット等を活用した駐輪場を3箇所設置したところです。 今後も、商店街や事業所の協力をいただきながら、放置禁止区域の拡大も視野に入れ、駐輪場の整備に取り組んでまいります。 (建設部交通政策課)
P 9 ・ I G R 下田駅の早期着工を図られたい。	田沢湖線前潟駅につきましては、平成24年度にJ R 東日本に基本計画調査を委託し、新駅設置の適地との調査結果を得ておりますが、開業設備費を含めた総事業費が多額となり、事業費の確保が課題となっていることから、課題解決に向けて引続きJ R 東日本のほか関係機関等と協議してまいりたいと存じます。また、平成28年度は、事業効果の検証を行っているところであり、総合交通施策懇話会での御意見を踏まえながら、事業の妥当性について検討してまいりたいと存じます。 (建設部交通政策課)
P 9 ・ 仮称南仙北駅の総合計画への格上げを図られたい。	I G R 下田駅につきましては、見込まれる利用者数が少ないことと事業費の確保が課題となっており、今後の事業のあり方について、住民の意見を伺うため、平成27年4月、5月及び11月の3度にわたり地元懇談会を開催したところです。 今後も地元の意見を踏まえ、新市建設計画に位置付けの他事業の精算を加えながら、新駅設置の可能性について検討してまいりたいと存じます。 (建設部交通政策課)
P 9 ・ 仮称南仙北駅の総合計画への格上げを図られたい。	岩手飯岡駅と仙北町駅間の新駅の設置につきましては、公共交通機関へ転換しやすい環境づくりのための取組として市総合交通計画に新駅設置の可能性の検討を位置付けておりますが、もりおか交通戦略では長期的な課題としており、今後、周辺の市街化の状況等を

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 9 山田線の社会実験を成功されたい。また、宮古市と活性化協議会をつくり活性化や国の補助金の導入、観光活用についても盛岡市が主導で実施されたい。	踏まえながら検討してまいりたいと存じます。 （建設部交通政策課） ＪＲ東日本盛岡支社と市が連携して取り組んでいる山田線の社会実験につきましては、目標としていた１日あたり増加乗車人員数200人を達成することができなかったため、平成29年３月をもって社会実験を終了する予定となっております。これに伴い、盛岡・上米内間の平日の夕方・夜の時間帯に上下２本、合計４本増発されていた列車は、平成29年次期ダイヤ改正をもって廃止される予定となっております。 一方、今後につきましては、社会実験を通じて結成された「ＪＲ山田線ファンクラブ」などの地域でのマイレール運動の支援を継続し、山田線の利用促進に結び付けていきたいと存じます。 また、活性化協議会の設置につきましては、県、宮古市の動向を踏まえながら、必要に応じて検討してまいるとともに、宮古までの増発や観光活用につきましては、庁内関係機関と連携し、機会を捉えながらＪＲ東日本に要望してまいりたいと存じます。 （建設部交通政策課）
P 9 東北本線の活性化（ＩＧＲと相互乗り入れ）や 701系電車に転換クロスシートの設置、増結を要請されたい。	相互乗り入れにつきましては、事業者間の費用負担の課題があると伺っております。 また、転換クロスシートにつきましては、ＪＲ東日本からは、701系電車は、朝夕の通勤通学の混雑時にできるだけ多くの方に乗車いただき、スムーズな乗降ができるようにロングシートとしており、保有車両を最大限活用している現状では、混雑時と日中を区別して運用することが困難なため、転換クロスシート化、増結は難しいと伺っております。 （建設部交通政策課）
P 9 ＩＧＲの車両更新には、転換クロスシートの導入を促されたい。	ＩＧＲの車両更新時における転換クロスシートの導入につきましては、今後の「ＩＧＲいわて銀河鉄道利用促進協議会」等において、ＩＧＲに要望してまいりたいと存じます。 （建設部交通政策課）
P 9 仙北町駅橋上化の早期実現	仙北町駅の橋上化につきましては、整備に多額の費用やＪＲ東日本との費用負担等の課題もあり、引き続きＪＲ東日本と相談してまいりたいと存じます。 （建設部交通政策課）

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 9 ・ 狭隘道路の改良の促進	幅員が4m未満の市道につきましては、地元が主体となって進める、「狭あい市道整備 促進事業制度」があります。拡幅用地の寄附が前提となりますが、その拡幅用地における測量及び物件移設等の経費に対し、補助金を交付する制度ですので、活用等については、道路管理課までご相談いただきたいと存じます。 (建設部道路管理課)
P 9 ・ 小型バス導入できめ細やかなバス路線の開設を図られたい。原則すべてのバス停にベンチを設置するために隣接民有地と固定資産税の減免や提供者を表彰する制度の創設等ベンチ用地の確保策を促進されたい。バス停の間隔が空いている区間には中間のバス停を増設していただきたい。	小型バス導入につきましては、道路が狭隘な地域では、小型バスの導入は有効な手段の一つと考えられますが、乗客を乗せきれない可能性があることや、運転手不足が続いている理由から導入は難しいとバス事業者から伺っております。 また、ベンチの設置につきましては、設置空間の確保の課題もありますことから、バス停上屋と合せての設置や、地元の協力も頂きながら、今後も取組んでまいりたいと存じます。バス停用地として民有地を提供いただいた場合、これまでも固定資産税の減免等を行っておりますが、表彰制度につきましては、市としての表彰制度はないもののバス事業者が感謝状の贈呈を行った例がありますことから、今後バス事業者に相談してまいりたいと存じます。 また、バス停間隔が長い区間へのバス停増設につきましては、バス事業者と相談してまいります。現地の状況により安全面から公安委員会や道路管理者等から同意いただけない場合もございますので御理解願います。 (建設部交通政策課)
P 9 ・ 公共地下道にナンバリングをされたい（仙北地下道など）。	仙北地下道につきましては、管理者である盛岡広域振興局の道路環境課へご要望をお伝えし、ナンバリング等の案内標示の検討をお願いしております。また、市管理の地下道につきましては、今年度整備を行っております盛岡駅前地下道の案内標示と統一性をもった標示とすることを検討しており、現地調査を実施しながら、案内が不足していると判断される箇所につきましては、設置の検討をしてまいりたいと存じます。 (建設部道路管理課)
P 9 ・ 国道46号線の盛岡から秋田県境までの高規格化をされたい。	国道46号線は、地域高規格道路「盛岡秋田道路」の一部として位置づけられており、岩手・秋田両県の広域地域間交流促進のため、これまでも国に対し早期整備を要望している

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 10 - 歩行者の安全特に通学路の安全対策を強化するためにゾーン30の計画的な導入を促進されたい。 【上下水道局関係】 P 11 - 災害に対する対策を強化されたい。国土交通省や県と連携した洪水対策の強化や堤防の整備を促進や内水処理対策を示されたい。	ところです。今後も沿線自治体で構成する国道整備促進期成同盟会を通じて、機会を捉えながら地域高規格道路化を国に要望してまいりたいと存じます。 (建設部道路管理課) ※ 市民部で回答 急傾斜地崩壊等を含む土砂災害対策につきましては、県が実施する土砂災害防止工事等によるハード対策と併せ、市といたしましても、県と協力しながら土砂災害警戒区域等の指定に向けた取り組みを行うとともに、ソフト対策として土砂災害に関する情報の伝達方法、避難地に関する事項等の周知を図るため、区域指定された箇所ごとの土砂災害ハザードマップの作成及び配布を行い、引き続き、市民の安心・安全な暮らしを確保するよう努めて参ります。 また、洪水対策の強化や堤防の整備につきましては、国におきましては「北上川水系河川整備計画」に基づく河川整備事業や、四十四田ダムと御所ダムの連携した操作、河川の適正な維持管理を行っていると同っております。 岩手県におきましても、盛岡西圏域、盛岡東圏域の河川整備計画に基づき木賊川や南川などの河川改修等の事業を実施しており、北上川（県管理区間）及び松川につきましては、盛岡北圏域の河川整備計画が平成27年9月に認可され、平成27年度より事業に着手し、整備を進めているところでございます。 市といたしましても、国や県と連携しながら、河川整備計画に併せて内水対策を検討するとともに、定期的なパトロールによる状況把握や市民からのご要望を踏まえながら、市民の安全・安心な暮らしを確保するため、河川の洪水対策に取り組んでまいりたいと存じます。 (建設部河川課)

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 11 松川の安全対策を講じられたい。	松川の安全対策につきましては、県において平成27年9月に認可された盛岡北圏域の河川整備計画に基づき整備されることとされており、平成27年度より事業に着手しているところでございます。 (建設部河川課)

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【商工観光部関係】 P 7 中心市街地のみではなく、バランスの良い街づくりの為の対策を講じられたい	本市のまちづくりの目標は、総合計画の基本構想における世界に通ずる「元気なまち盛岡」の実現を目指しており、この目標を踏まえた都市形成の進め方は、周辺の丘陵地や森林を保全し、中心市街地活性化基本計画に基づく中心市街地の充実を図るとともに、適切な機能分担に基づき、現都心から盛岡駅西口地区及び盛岡南新都市地区において相互に連担する都心を形成し、その周辺には住宅地や農用地を配置することにより、県都及び北東北の拠点都市としての施策をバランスよく実施しているところです。 また、各地域におけるまちづくりにつきましては、ワークショップ等を踏まえて策定した都市計画マスタープラン地域別構想に基づき、各地域のまちづくりの目標を定め、具体的施策の実施に努めております。 さらに、各地域のまちづくりにつきましては、まちづくり懇談会等を通じて地域の皆様との話し合いを行うとともに、地域住民の方々による自主的なまちづくり活動に対して支援しているところであり、今後とも、市民協働の取り組みを行いながら、本市のまちづくりを進めてまいります。 （都市整備部都市計画課）
【都市整備部関係】 P 10 内丸官庁街の再開発計画を策定して、県をはじめ各団体との話し合いを始めていただきたい。	内丸官庁街につきましては、市民の利便性、公務の能率、土地の高度利用を図るために「一団地の官公庁施設」として都市計画決定されており、この都市計画施設は、今後必要なものとして継続されるべきものと考えます。 団地内の建物及び土地利用に関しては、今後の経年変化による建替えなどに応じて、各建物管理者と協議調整を図っていく必要性がありますことから、今後も情報収集に努めるとともに、適宜、国・県との協議調整を図ってまいりたいと考えております。 （都市整備部都市計画課）
P 10 人口減少時代に促した都市計画の修正にご努力いただきたい。	本市が平成27年10月に策定した人口ビジョンでは、本市の将来人口は減少すると予測しております。

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 10 盛岡城の再建とあわせて下の橋側の民有地を買収して公園化をされたい。	平成21年度に見直しを行いました「盛岡市都市計画マスタープラン」におきましても、人口減少社会の到来を受け、市街地の周辺部への拡大を規制するとともに効率的で機能的な土地利用を基本としたコンパクトな市街地の形成を図ることとし、それに合わせて、コミュニティの保全や地域の特徴を活かしたまちづくりなどを行うこととしております。 （都市整備部都市計画課）
P 10 松園団地や桜台団地、湯沢団地などの団地の活性化策を講じられたい。	盛岡城跡の歴史的建造物の再建につきましては、平成24年度に策定した「史跡盛岡城跡整備基本計画」に基づき、平成34年度以降に二階櫓や吹上門などの復元と、長期的な取組として天守（三階櫓）の復元を検討することとしており、復元に向けて各種資料調査・収集に取り組んでいるところであります。 また、下ノ橋側の公園整備につきましても、上記基本計画に基づき、米内蔵周辺地区としまして、彦御蔵整備活用や周辺建物と樹木等の整理を進めることとしております。隣接する民有地の一部は公園区域となっておりますが、都市計画道路「盛岡駅南大通線」の計画区域もありますことから、この道路の今後の方向性と併せて検討してまいりたいと考えております。 （都市整備部公園みどり課） 松園団地や桜台団地、湯沢団地などの郊外における団地におきましては、開発からの年数経過に伴い、少子高齢化と人口減少や空き地、空き家の課題が生じてきていることから、これまで地域の皆様との話し合いを行いながら、公共交通利用促進や松園団地においては用途地域の見直しなどの取り組みを行ってまいりました。 また、本市では、全国7都市で構成する「ふるさと団地元気創造推進協議会」により国に対して、郊外団地の活性化の政策について提案を行ってまいりました。 平成24年度からは、空き家等の利活用を促し、地域の活性化を図るため、松園ニュータウンにおいて社会実験として「盛岡市空き家等バンク制度」を開始し、平成27年度には範囲を市街化区域に拡大したところです。また、平成28年3月に「盛岡市空き家等対策計画」を策定し、空き家等の適正管理と有効活用に関する施策を計画的に実施することとしております。今後におきましても、空き家対策を進めながら、地域の活性化を図ってまいりたいと考えております。 （都市整備部都市計画課）

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 10 盛岡南公園の南側敷地（草むら部分）をスポーツグラウンドとして整備して頂きたい。	盛岡南公園の公園事業につきましては、平成19年度で現開設区域の整備を完了し、現在は休止中としていただいております。御要望の南側の箇所につきましては、健康広場としての整備が終了しており、スポーツグラウンドとしての再整備は難しい状況となっておりますので、御理解をお願いいたします。 （都市整備部公園みどり課）
P 10 新たな土地利用をする地域での電線地中化や景観意匠施策、地中熱利用による融雪対応、自然エネルギーの導入など環境配慮した住宅街を形成するためのモデル地区をつくられたい。	大規模な宅地開発など、新たな土地利用の相談があった場合は、景観・環境に配慮した地区計画の決定などの提案を行ってまいります。 なお、住宅地における電線地中化につきましては、大慈寺地区において、歴史的景観を保全し、形成を図るため、平成24年8月に都市計画法に基づく景観地区に指定するとともに、地区計画を定め、その「公共施設等の整備の方針」の中では、「特にも多くの町家などが連担している市道南大通二丁目南大橋線は、景観上も重要な路線であることから、無電柱化などにより歴史的景観に配慮した整備を図る」こととしております。 （都市整備部都市計画課・景観政策課）
P 10 景観力が向上するような施策を展開されたい。違法看板への対応を強化されたい。	平成21年度に景観計画を策定し景観施策を進めてまいりましたが、これまで運用してきた中で、取り組むべき課題や改善すべき問題点が出てきましたので、良好な景観形成をさらに促進するため、景観計画の改定事務を進めてまいります。 また、良好な景観形成を促進するためには、景観に関する市民や建築関連業者の意識向上が重要でありますことから、周知啓発を図るために、従来から実施しております「景観シンポジウム」や「都市景観賞」を継続するほか、周知啓発に有効な施策について検討してまいります。 法令に違反する屋外広告物につきましては、対応を強化するため、平成26年度に是正指導事務処理要領及び是正指導計画を策定して取り組んでおります。 また、平成26年度以降、市民、屋外広告業者、行政機関が参加する「広告景観タウンミーティング」を開催し、官民連携による屋外広告物の適正化に向けた取り組みを行っているところです。 今後ともこれらの取組を継続して屋外広告物の適正化を推進してまいります。 （都市整備部景観政策課）

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 10 ・ 鉾屋町地区は重要伝統的建造物群保存地区を目指すべきだと考える。検討いただきたい。	「重要伝建群地区」は文化財保護法に基づく制度であり、指定要件に合致するか等文化財としての評価の問題がありますほか、現状変更規制がかけられることから、所有者や地元の合意形成等の課題がございます。 鉾屋町地区につきましては、平成23年11月に策定した「大慈寺地区まちづくり計画」に基づき、盛岡町家の保存と街並み形成の誘導を図ることとしており、平成24年度には、この計画に基づき、住民合意を踏まえ、都市計画法に基づく「地区計画」、景観法に基づく「景観地区」の指定を行い、地域住民との協働によるまちづくりを進めております。 従って、「伝建地区」の指定につきましては、地元の動向も注視しながら指定の可能性等について研究してまいりたいと存じます。 （都市整備部都市計画課・景観政策課・教育委員会事務局歴史文化課）
P. 10 ・ 盛岡バスセンターの賑わい拠点としての再生を進めて頂きたい。	盛岡バスセンター再整備事業につきましては、バスターミナル機能と賑わい機能を持つ安全・安心な施設として整備し、バスターミナル機能を維持するとともに、中心市街地活性化及び河南地区の賑わい創出を図ることを目的としています。 再整備事業の検討に当たっては、市民の皆様をはじめ関係機関のご意見も踏まえながら、検討してまいります。 （商工観光部経済企画課・建設部交通政策課・都市整備部市街地整備課）

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【上下水道局関係】 P 11 上下水道事業における老朽施設の計画的な更新を促進されたい。人口減少に対する施設の集約化や技術の継承を図られたい。	水道施設の更新につきましては、「もりおか水道施設整備構想」及び「第三次盛岡市水道事業基本計画」に基づき計画的に進めているところです。浄水場等施設については、将来の人口減少を見据えた施設の在り方や浄水場の集約化等を踏まえて計画的に取り組んでおり、管路については、老朽化した管路の更新を最優先に進めているところでございます。 老朽化した下水道施設につきましては、平成24年度に策定した「盛岡市下水道長寿命化計画」に基づき、国の長寿命化支援制度を活用し計画的な改築更新に努めているところで、処理施設については、平成26年度から東安庭の中央監視制御棟設備更新工事を実施しており、管路施設については、平成26年度から菜園・内丸地区の合流管の管更生工事を実施し、施設の更新（延命化）を推進しているところです。また、ポンプ場施設については、平成24年度から順次耐震診断を進めており、今後、診断結果を踏まえ計画的な更新を推進してまいります。 また、農業集落排水につきましては対象集落の人口減少を見据えて、公共下水道への接続に関する具体的検討を進め、平成30年度を目途に農業集落排水施設最適整備構想の策定を進めてまいります。 （上下水道部水道建設課・下水道整備課）
P 11 災害に対する対策を強化されたい。国土交通省や県と連携した洪水対策の強化や堤防の整備を促進や内水処理対策を示されたい。	災害の対策等につきましては、「盛岡市地域防災計画」や「盛岡市上下水道局災害対策マニュアル」に基づき、市長内部部局と連携を図り、迅速な応急給水及び応急災害復旧等の対応を行うこととしております。 停電に伴う断水対策につきましては、高圧移動用電源車の配備、低圧移動用電源車の更新、上乙部ポンプ場の自家発電装置の整備などを進めてきており、平成26年度で整備を完了いたしました。 また、地震に係る断水対策につきましては、水道創設期（昭和9年）の水道管やビニル管等の耐震管への布設替えを実施しているほか、平成26年度から平成37年度までの計画で、重要給水施設までの配水管の耐震化整備を進めております。 このほか、浄水場間の水融通を可能とするための連絡管、滝沢市や岩手町などの近隣市町との連絡管の整備を進めております。 内水処理対策につきましては、過去の浸水被害の状況や緊急性等に配慮しながら、計画

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 11 ・ 松川の安全対策を講じられたい。	された雨水幹線施設等の整備を推進するとともに、高次都市機能が集積している市中心部を対象に平成29年度を目途に内水ハザードマップを作成し、周知に努めてまいります (上下水道部総務課・下水道整備課) ※ 建設部で回答
P 11 ・ 鉛管の交換を早期に実施されたい。	鉛製の給水管につきましては、平成15年の水道法改正により水質基準が改正されたことに伴い、継続事業である経年管対策事業や能力増強事業等のほか、新たに鉛製給水管更新事業を実施し公道内から水道メーターまでの解消に努めてまいりました。また、所有者が自ら行う布設替えに対しても、その工事費の一部を助成してまいりました。 公道内にある鉛管の布設替えを行う鉛製給水管更新事業におきましては一定の目途が立ったことから、平成27年度からは経年管更新事業等により実施しております。また、給水装置の所有者に対する助成制度の広報を充実させるなど引き続き解消に努めてまいります。 (上下水道部給排水課)
P 11 ・ 水道事業広域化にむけた工程や概要を早期に市民に示されたい。	水道事業の広域化につきましては、平成28年2月29日付けで総務省から各都道府県あて「市町村等の水道事業の広域連携に関する検討体制の構築等について」の通知があり、平成28年度中の早期に、県は広域連携に関する検討体制を設置し、平成30年度までを目処に検討を行うことが望ましいとされております。検討体制の構築に当たりましては、県が策定した岩手県水道整備基本構想（いわて水道ビジョン）の広域水道圏ごとに検討を進めることとなっております。いわて水道ビジョンにおきましては、盛岡市は、八幡平市、滝沢市、雫石町、岩手町、矢巾町との3市3町による広域的水利用の可能性について検討することとなっております。今後、総務省通知に基づき、検討結果について県及び関係市町のホームページ等により広く市民に周知することとしております。 また、総務省通知に先立ち、平成25年度から関係3市3町による「水道事業の諸課題等に関する意見交換会」を開催し、各市町の課題等について情報交換を行うほか、広域連携の研究を進め、平成26年度には水道実務担当者による「盛岡広域水道圏における水道事業

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
	の経営形態安定化に関する研究会（盛岡広域水道圏研究会）」を発足し、広域化による各市町のメリットデメリットの整理、今後の進め方等について研究を進めております。 （上下水道部水道建設課）

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【市立病院関係】 P 11 - 持続的に医師の確保につとめられたい。 P 11 - 累積債務75億円台到達しているが、この圧縮のために早期に対策を講じていただきたい。	医療の質の向上と収益改善を進めるうえで医師の確保は最も重要なことであり、平成28年度は、循環器内科1名、神経精神科1名の常勤の医師を確保しました。今後も岩手医科大学へ医師派遣を引き続き要請するとともに、医師紹介業者等からの情報も収集しながら、常勤医師の確保に努めてまいります。 (市立病院総務課) 引き続き医師確保に努めるとともに、地域包括ケア病棟を円滑に運用することや、他の医療機関や介護施設との連携・協調のもとに、市民ニーズに応える医療を提供することにより、安定経営を目指し、累積債務の縮小に取り組んでまいります。 (市立病院総務課)

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【商工観光部関係】 P 7 石川啄木を通じた、函館市・文京区との連携や友好関係の締結を促進されたい。	本市は、函館市とは「啄木かるた大会」を相互に開催しておりますし、東京都文京区とは平成24年7月に「石川啄木ゆかりの地」地域文化交流に関する協定を締結するなど、両都市とは、「啄木」を縁とした交流を進めております。 平成28年3月には、新幹線が東京から函館までつながり、本市と函館市、文京区がより身近な都市となりましたことから、今後の交流の広がりや活動状況を見ながら、対応してまいります。 （市長公室企画調整課・教育委員会事務局歴史文化課）
【都市整備部関係】 P 10 鉾屋町地区は重要伝統的建造物群保存地区を目指すべきだと考える。検討いただきたい。	「重要伝統的建造物群保存地区」は、文化財保護法に基づく制度であり、指定要件の合致等文化財としての評価の問題があるほか、指定されると現状変更規制がかけられることから、所有者や地元の合意形成等が課題となります。 鉾屋町地区につきましては、平成23年11月に策定いたしました「大慈寺地区まちづくり計画」に基づき、盛岡町家の保存と街並み形成の誘導を図ることとしており、平成24年度には、この計画に基づき、住民合意を踏まえ、都市計画法に基づく「地区計画」、景観法に基づく「景観地区」の指定を行い、地域住民との協働によるまちづくりを進めております。 「重要伝統的建造物群保存地区」の指定につきましては、地元の動向も注視しながら指定の可能性等について研究してまいります。 （都市整備部都市計画課・景観政策課・教育委員会事務局歴史文化課）

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【教育委員会関係】 P 12 学力の向上とあわせて全国平均を下まわる体力の一層の向上策を講じられたい。	学力向上については、教員の指導力の向上を図るために、各校の校内研究会への指導主事の派遣、研究指定校による公開研究会の開催を行っております。また、平成21年度から学力向上に向けての全市的取組である「盛岡市学力向上プロジェクト」を推進してまいりました。 その成果の継承と課題の解消に向け、平成27年度から名称を「盛岡市学力向上推進事業」と変更し、平成28年度は「児童生徒一人一人の達成感の向上を目指した授業改善の徹底」を重点とし、授業における共通取組の徹底や授業振返りカードの活用等に取り組んでおります。 体力向上については、各校において、体力・運動能力調査の結果を基に、十分な運動量を確保しながら体育授業の改善に取り組むこと、日常的に小学生の外遊びを奨励することなどに取り組んでおります。また、体力向上に関する研究委託や教員研修を行うとともに、スポーツ推進課及び盛岡市体育協会の事業と連携を図りながら、体の基本的な動きや体力向上に関する研修会に参加するよう指導を行っております。 （教育委員会事務局学校教育課）
P 12 職業観・社会観の醸成をされたい。そのために地区の人材を講師として招聘されたい。	盛岡市では、児童生徒の社会的・職業的自立のために必要な能力を育むため、平成19年度に、産業界や関係行政機関等を委員とする「キャリア教育推進協議会」を立ち上げ、各学校での実践を支援するため、「職場体験リスト」の作成やリーフレットの作成を行ってまいりました。 平成27年度は、職業に関する講話や授業協力をいただける人材を確保するため、「職場体験リスト」を刷新し、「職場体験受入・キャリアアドバイザーリスト」として新たに作成し、市内全小中学校へ配布いたしました。今後も地区の人材等を活用し、キャリア教育の充実を図るよう、各学校に働きかけてまいります。 また、各学校では、生活科や総合的な学習の時間において、地域の人とかかわる活動を行っております。 （教育委員会事務局学校教育課）

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 12 盛岡市立高校の活性化を図られたい。県教育委員会まかせではない、市教育委員会の独自の人事制度や教員配置を通じ、生徒の集まる環境を整備されたい。	平成16年度から21年度まで実施した市立高校教育改革により、大学進学率、就職率が向上し、国公立大学合格者数も増加しております。また、部活動奨励により、スポーツ、文化活動ともに優秀な成績を収めており、市立高校に対する評価が高まってきております。 平成25年度に策定した第二次市立高校教育改革基本方針により、教育環境の変化に対応しながら、更なる高校教育の質の向上に努めてまいります。 受験者の確保につきましては、入試制度改革や中学校訪問などにより学校の教育内容や入試制度などの説明を行ってきておりますが、今後も引き続き学校の特色や成果等について周知を図り、受験者の増加に努めてまいります。 教員の配置につきましては、市立高校が1校であり人事異動の面から独自の配置は困難でありますことから、これまで同様、県教育委員会と連携しながら、進めてまいりたいと存じます。 （教育委員会事務局学務教職員課・市立高校）
P 12 市内全域の学校教育施設等の整備促進計画案の公表（統廃合含む）をされたい。中学校での先行を行われたい。	学校教育施設等の整備促進計画につきましては、「学校施設等整備基本方針」に基づき整備してまいります。 盛岡市立小中学校の統廃合につきましては、平成21年4月に盛岡市小中学校適正配置基本方針を策定し、平成21年度から平成23年度までに基本方針に関して聴取等を行った保護者、学校関係者、地域からの意見等を踏まえ、平成24年11月に盛岡市小中学校適正配置基本計画を策定しております。 計画では、中学校単位での統合を先行することについては特に触れてはおりませんが、地域との懇談等において、適正配置に関する意見や要望が出された場合には、適切に対応してまいります。 （教育委員会事務局総務課・学務教職員課）
P 12 中学校の部活動にかかる費用を支援して頂きたい。大会等の旅費について運動部・文化部にかかわらず拡充を図られたい。	中学校のクラブ活動費の支援につきましては、経済的理由により就学が困難と認められる生徒のうち、国が支援を行う要保護生徒に対しては、平成21年7月から生活保護費の教育扶助学習支援費の一部として支給してきております。 運動部については、県大会、東北大会及び全国大会へ派遣するために、生徒の旅費の一部を盛岡市中学校体育連盟に助成しており、29年度についても継続してまいります。

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 12 学校司書の配置をして頂きたい。	文化部については、28年度は、全国大会へ出場する吹奏楽部や合唱部などの団体に対し、助成しているところであり、29年度も継続するよう努めてまいります。 （教育委員会事務局学務教職員課・学校教育課）
P 12 就学支援金の拡充をされたい。	学校司書の配置につきましては、学校図書館法の改正に伴い、平成27年度から、学校図書館担当の非常勤職員として読書活動推進員を「学校司書」と位置付け、28年度は1名増員し、18校に9名を配置しております。今後も、学校図書館の整備・充実のため、配置人数の増員に努めてまいります。 （教育委員会事務局学校教育課）
P 12 市立図書館建て替えについて、市民要望が充分反映する形での検討を希望する。	市立高校における就学支援金制度につきましては、国の制度に基づき運用してまいります。 （教育委員会事務局学務教職員課）
P 12 小中高における特別支援学級の充実をされたい。	市立図書館の整備につきましては、「盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画」を踏まえながら検討することとなっており、現在図書館のあり方や、今後の整備方針を検討しております。図書館を取り巻く様々な市民意見なども見極めながら検討を進めてまいります。 （教育委員会事務局生涯学習課）
P 12 教育予算を増やし、耐震工事・屋根塗装・老朽校舍整備・プール改修など教育条件整備に努められたい。	盛岡市立小中学校に設置された特別支援学級は、平成27年度は小学校60学級、中学校29学級でしたが、対象児童生徒の増加や未設置校からの要望により、平成28年度は、小学校16学級、中学校4学級を新たに設置しております。今後とも、各学校の実態を受け、必要に応じて設置するよう努めてまいります。 （教育委員会事務局学校教育課）
	耐震補強工事は、平成28年8月に完了しております。 屋根塗装、老朽校舍整備及びプール改修につきましては、経過年数や老朽化の状況を勘案しながら、計画的に整備するよう努めてまいります。 （教育委員会事務局総務課）

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 12 ・ 情報教育の更なる推進に向けて、 LAN 構築・指導者育成に努めること。	校内 LAN の整備につきましては、校舎の改築や大規模改修に併せて、校内 LAN 用の配管の設置に努めてまいります。 指導者研修につきましては、情報教育推進のため、コンピュータ操作に係る公開講座を開設し、指導者育成に努めております。 (教育委員会事務局総務課・学校教育課)
P 12 ・ 市指定文化財を県指定・国指定に再評価していくよう働きかけたい。	市の指定文化財が県及び国の指定文化財となるためには、県及び国の類似の文化財との比較において県及び国を代表する典型的で重要なものであることを示す必要があり、個々の事例について、調査研究に努めてまいります。 (教育委員会事務局歴史文化課)
P 12 ・ 市立学校の生徒が年間 1 回は市営施設を利用するよう奨励されたい	各学校では、生活科や社会科、理科等の授業の一環として、消防署や浄水場、子ども科学館等の施設見学を取り入れながら学習しております。また、体育のスケート学習としてアイスアリーナ、また、先人教育の一環として、先人記念館や原敬記念館、石川啄木記念館、盛岡てがみ館などの見学を行っている学校もあります。さらに、小・中学校体育連盟がそれぞれ主催する大会は、市営施設で開催するなど、多くの児童生徒が利用している状況にあります。 今後も、市営施設等を活用しながら、児童生徒の学力や体力の向上に努めるよう、各学校に働きかけてまいります。 (教育委員会事務局学校教育課)
P 12 ・ 各分野の伝統文化の担い手の相互交流を促進する機会をつくっていただきたい。	市では、盛岡市所在の指定無形民俗文化財及び古武道の保存・活用を図り、その保持団体の相互連絡を密にし、後継者の育成を図ることを目的とした、「盛岡市無形民俗文化財保存連絡協議会(54団体が加盟)」に対して、補助金を交付し、その活動を支援しているほか、青少年郷土芸能フェスティバルを共催するなど、積極的に民俗芸能の担い手の育成を促進する機会を設けております。 (教育委員会事務局歴史文化課)

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 12 いじめや自殺防止のため、L G B Tを含む人権教育の強化に取り組まれない。	いわゆるL G B Tといった性的指向を取り立てた指導は行っておりませんが、各学校では、人権教育の内容として、社会科の学習の中で「基本的人権を尊重すること」、道徳の中で「だれに対しても差別や偏見を持つことなく接すること」、学級活動の中で「自己及び他者の個性を理解し尊重すること」を指導しております。 (教育委員会事務局学校教育課)
P 12 教職員の不祥事防止を徹底されたい。	教職員の綱紀保持の徹底を図るとともに、教育公務員として一人一人の行動が、教育に対する信頼に及ぼす影響を深く自覚することを促し、モラルの向上、法令遵守の徹底について繰り返し指導し、不祥事の再発防止に引き続き取り組んでまいります。 さらに、今年8月の逮捕事案を踏まえ、教育委員会として教職員の不祥事防止対策を示し、各校における研修や面談の充実を図るなど不祥事防止に向けた具体的な取組を推進してまいります。 (教育委員会事務局学務教職員課)

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【建設部関係】 P 9 市道日戸柴沢線の常光寺より先の拡幅整備、また日の出橋の前後の道路整備を実施された	市道日戸柴沢線の常光寺より先の拡幅整備につきましては、新市建設計画の対象路線を優先的に整備することとしておりますことから、当該路線の整備は後年度とならざるを得ない状況となっております。 なお、同路線内の2号橋・3号橋につきましては、辺地債活用事業として平成30・31年度の整備を計画しているところでございます。 今後におきましても損傷等の度合や緊急性を要する箇所につきましては、道路維持管理事業の中で対応してまいりますので、ご理解を賜りたいと存じます。 日戸柴沢線1号橋（通称：日の出橋）の前後の道路整備につきましては、県道渋民川又線から同橋を含め約120m区間の道路改良工事を平成28年9月に完了したところでございます。 （玉山総合事務所建設課）